

## 報告 1

# 平成 26 年度 事業計画

自 平成 26 年 4 月 1 日

至 平成 27 年 3 月 31 日

### 1. 平成 26 年度定時社員総会（通算 36 回）

平成 26 年 6 月 27 日（金）東京大学浅野キャンパス武田ホールにおいて、平成 25 年度事業報告および収支決算報告、平成 26 年度事業計画および収支予算についての報告を行う。

### 2. 理事会

理事会を 2 回以上開催し、会務運営上の諸事項を決定する。必要に応じて書面会議を開催する。

### 3. 常任理事会

常任理事会を 3 回以上開催し、会員サービス、会計業務および NG 事業（国内シンポジウム、国際シンポジウム・国際会議の支援、創造的提案事業、表彰・奨励制度等）についての会務運営上の重要事項を審議する。必要に応じて三役調整会議を実施し、会務運営事項の整理を行う。

### 4. 専門幹事会

会務運営に関する計画立案ならびに事務処理を行う。なお、活動に関しては、理事会または常任理事会において議論する。

### 5. ISRM 事業への参加・協力

ISRM Council meeting および Asian Council meeting への協力・参加。

### 6. アジア諸国を中心とした国際交流

国内シンポジウム等における講演会の開催などを行う。今年度は、ARMS8 での基調講演を支援する。

### 7. 常設委員会

#### (1)編集委員会

1) 「岩の力学ニュース No.112～115」の編集および発行

2) RockNet 委員会への定期的情報提供

## (2)国際技術委員会

- 1)岩盤工学に関する国内技術の国際化と広報に関する支援
  - ・地盤工学会基準など国内の英文基準の広報に関する支援
- 2)日本開催の国際会議の支援
  - ・ARMS8 の開催・運営に関する支援
- 3) ISRM の Comission への積極的参加についての支援
  - ・WG on SM for AE Laboratory Method の国内 SWG の活動支援
- 4) Committee on Geo-Hazard in Asian Area (仮称) の活動支援
  - ・国内 WG 設置と活動支援
- 5)若手技術者の国際プログラム参加に関する情報収集と広報支援

## (3)電子ジャーナル委員会 (兼 ISRM Congress 2015 論文審査委員会)

- 1)第 10 巻第 1 号 (2014 年 1 月～12 月) の発刊
- 2)第 11 巻の編集準備
- 3)電子ジャーナル冊子体 (賛助会員向け) の発刊
- 4)ISRM Congress 2015 論文審査方針・方法の決定および査読委員の人選

## (4)RockNet 委員会

- 1) Rock Net Japan の運用
  - ・25 年度に大幅更新した Rock Net Japan に関して、引き続き改良、更新を進める。会員の意見、要望を取り入れ、HP の構成をより見やすくし、各コンテンツへのアクセスを容易になるよう常に改良を進める。事務局からのお知らせ等は、事務局担当が自身で更新作業を行う。
- 2) Rock Net Mail の配信
  - ・配信作業は 2 名の委員で分担して行う
- 3) 電子ジャーナルへのプラットフォームの提供
- 4) 岩の力学ニュースのアップロード
- 5) 各委員会活動報告 WEB サイトの提供
  - ・3)～4)に関して、Rock Net Japan を通して連合会の諸活動をサポートする。また、要望が多い会員専用の「入り口」を作り、掲示板等により情報交換ができるようなシステムを検討する。
- 6) ISRM 本部の学会電子化事業との連動・連携
  - ・ISRM 本部のニュースを RSS で自動配信し、また、その他 ISRM 本部の HP へ容易にアクセスできるようにリンクを貼るなど、会員による ISRM コンテンツの積極的な利用を促す。

(5)岩の力学連合会賞選考委員会

- 1)連合会賞「論文賞」,「技術賞」,「フロンティア賞」の募集
- 2)推薦業績の審査
- 3)連合会賞の決定

(6)総務委員会

- 1)会計・労務 WG
  - ・ 会計, 労務管理
  - ・ 予算案の作成
  - ・ 理事会, 常任理事会の運営
  - ・ 三役調整会議の規約の整備, 運営
- 2)企画 WG
  - ・ 規則・規定類の整備
  - ・ 理事会, 常任理事会からの指示事項の検討
- 3)海外連絡 WG
  - ・ ISRM 本部および海外との連絡業務
  - ・ 国際シンポジウム案内等の Rock Net Mail 発信
  - ・ アジア諸国との国際交流の計画策定および実施

8. 特別委員会

(1)将来構想委員会

- 1) 10 年間の総括
- 2) 連合会の幹となる活動の検討
- 3) 今後の取り組み（組織基盤の充実, 国内, 国際活動の充実, 新たな活動）の検討

(2)50 周年記念事業委員会

- 1) 記念誌の発刊
- 2) 記念フォーラムの開催

(3)ARMS8 組織委員会

- 1) 組織委員会, 学術部会, 総務部会, 展示・行事部会の開催
- 2) 本論文の受付, 審査, 結果の通知
- 3) 論文集の発行と本会議プログラムの作成
- 4) 展示者の決定と案内の配布
- 5) 本会議の開催
- 6) ISRM 国別代表者会議の開催, ISRM 技術委員会開催

- 7) ISRM 理事会への対応, ローシャメダル受賞者への対応
- 8) 若手研究者支援事業の実施
- 9) 会計処理, 会議開催後業務
- 10) その他

## 9. その他

- (1)各学会開催行事などの共催・後援